

過去に戻すか、 前に進めるか。

SPECIAL対談
今、大阪に未来はあるのか?



橋下徹 × 吉村洋文 × 松井一郎

特集

大阪改革に大ブレーク!!

大阪会議は機能停止! 改革が失速…その裏側に迫る!

維新プレス vol.16

発行日/平成27年10月3日 | 〒542-0082 大阪市中央区島之内1丁目17-16 三栄長堀ビル
発行元/大阪維新の会 | Tel.06-6120-5581 Fax.06-6120-5582 http://oneosaka.jp



吉村洋文
hirofumi yoshimura

松井一郎
ichiro matsui

SPECIAL 対談

今、大阪に
未来はあるのか?

去る5月17日、大阪都構想の是非を問う
住民投票は否決されました。
結果は、賛成49.6%、反対50.4%という歴史的僅差。
大阪はこれからどうなるのか—。この結果を受け、大阪維新の会を代表する3人に、
今想いを語っていただきました。

ダマされた!の声が今ようやく…
自民党では大阪を成長させられません。

住民投票の時に大阪の自民党は

二重行政は

府と市が話あう場を作れば解消できる。
我々には大阪会議という対案がある。

と言つて都構想に反対しましたが…

住民投票が終わったあと

(大阪会議は)二重行政の解消を
もちろん目的の一つとしてることは
間違いございませんが、それは目的というか、
協議事項の一つであつて… 6月5日 財政総務委員会 柳本氏

と、少しずつ発言を変えていき…

最後は

大阪会議は都構想の対案ではない。
維新は終わった話にいつまでも執着している！

と、開き直り。

結局、住民投票後の約半年間、
維新の批判をするばかりで
大阪の改革は何も進めていません。

(吉村)ありがとうございます。

(橋下)いや、惜しかったですね。住民投票
もあってね。僕がこれだけいろんな
団体から嫌われる改革をやりまくつ
てて、それでも賛否拮抗するところ
まで押し戻してくれたんだから感謝
しますよ。

(吉村)なにより、今こうして大阪の改革が
遅れてるのが悔しいですね。そもそも
も僕は大阪をよくしたくて、大阪の
皆さんに支えられて市議会に立候補
したのがはじまりなので、今回
それに報いることができなくて…

(松井)それは橋下代表のせいやで。
あんだけばんばん好き放題言うて。
もう都構想反対の人はとにかく
橋下が嫌いやねん(笑)

(吉村)最後のほうの世論調査でもそう出て
ましたね(笑)

(橋下)あー、あれでしょ。“橋下徹は嫌い
でも大阪を前に進めてほしい”って
いう。吉村チームが作ったあのチラ
シでしょ?

(吉村)あれ良かったやん。僕はねあのチ
ラシができるて来たとき最初に見て涙
出たね。あれがほんまの想いやで。

(松井)本当にね。松井さんの言うとおり、
僕が嫌われて大阪が良くなるんなら
きましたよ。だからあのチラシ見た
ときも、やっぱりずっと一緒にやつ
てきた吉村さんだけあって、僕の最
後の想いをバシッと言つてくれたな
つて思いましたね。

(吉村)ありがとうございます。

(橋下)本当にね。松井さんの言うとおり、
僕が嫌われて大阪が良くなるんなら
もういくつでも嫌われる覚悟でやつ
きましたよ。だからあのチラシ見た
ときも、やっぱりずっと一緒にやつ
てきた吉村さんだけあって、僕の最
後の想いをバシッと言つてくれたな
つて思いましたね。

(吉村)その節はすみませんでした(笑)

(橋下)あー、あれでしょ。“橋下徹は嫌い
でも大阪を前に進めてほしい”って
いう。吉村チームが作ったあのチラ
シでしょ?

(吉村)あれ良かったやん。僕はねあのチ
ラシができるて来たとき最初に見て涙
出たね。あれがほんまの想いやで。

(吉村)今はなんでも東京。ここまで集中す
ると危険やで。もし東京にこの間の豪
雨や地震みたいな災害があつたら、こ
の国は全部止まってしまうんやから。

(吉村)その意味からいって、大阪を首都に
近い機能を備えた都市に早く復権さ
せないといけないでしょし、成長戦略の
実現と税金のムダをなくすことで
住民サービスの水準も日本のトップ
レベルまで持つていけると思つます。

(橋下)本当、大阪はこのままじゃアカんよ
ね。一緒に頑張つていましょ!

*吉村氏は住民投票の広報戦略を全て任されていました通称「吉村チーム」のリーダー

大阪市のままでも改革できると言っていた自民党でしたが、
付け焼刃で考えた大阪会議は機能せず、挙句自ら欠席。
総合区も案すら出せず、

何の改革もしないまま約半年が
過ぎてしまいました。

批判するだけの政治では、
大阪を前に進めることはできない。

二重行政解消は不可能
事前協議で話整わず

大阪会議
第3回会合

自民欠席
会議は死滅

大阪会議
第2回会合

”都構想の対案“一転”終わった話“
大阪会議袋小路へ

大阪会議
第1回会合

思い出してください。大阪自民党がやってきた昔の政治を。

大阪府と大阪市、仕事も施設も重複…緩慢な役所体質！



- ▶府市共に膨大な数の外郭団体 府は今の2倍以上 市は今の3倍以上(2008年と現在の比較)
- ▶増えすぎた市の職員数はダントツ1位 (政令指定都市の人口あたり職員数)
- ▶高すぎる職員報酬 例えばかつての市バス運転手年収は1,300万円！
- ▶府市共に身内に甘すぎる体质

- 大阪府では総額約6,850万円の裏金作り (2007年2月時点の総額)
- 市は組織ぐるみで毎月4時間のカラ残業 2001年4月～2004年10月まで25,330件のカラ残業総額1億2,292万円が支払われる。(2004年 MBS「VOICE」より)
- 制服名目でのスーツ支給 (2005年5月26日 読売新聞より)

その結果 府の借金は約6兆円^{*} 市の借金は約5兆円^{*}

※平成26年度ベース

これらの問題を解決してきたのが、
維新の改革。

大阪の改革をより進め、
大阪を成長させる。
それが都構想でした。

何も改革しないまま、約半年が過ぎまさに今
住民の皆さんのが見えないところで
昔の大阪に戻ろうとしています。

リニアや観光、企業誘致など成長戦略は維新も自民も同じ方向。大事なのは実現できるかどうかです。

二重行政を解消して、大阪を前に進める！

本当に住民一人一人が豊かに暮らせる大阪を実現するために、
大阪維新セカンドステージが、今はじまっています。